

事務事業名		乳幼児保健事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		保健課		H28係等名		保健指導係		H27係等名 保健指導係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
		施策	31	心と体の健康づくり							
目的	対象(誰・何を)	0～3歳児とその保護者						指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	①疾病の早期発見と健やかな発達 ②保護者の育児不安が軽減する						各年の出生児数(0～3歳児)		3550	
	向上させたい上位施策の成果指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合 %									
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	各健診の受診率(4か月・1.6歳・3歳) %				95	97.7	95	-		
	成果指標	母子個人相談と電話相談件数 人				3400	3347	3300	-		
定性目標											
事業概要	<p>乳幼児の病気の予防と早期発見および健康の保持、増進を目的として、乳幼児健診、家庭訪問、育児相談等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健やかな成長と保護者がそれを喜べるよう子育て支援を行う。</li> <li>・発育、発達について保護者が客観的に確認でき、育児の見通しを持つ機会とする。</li> <li>・保護者の心配事や不安が軽減され、育児について具体的な方法を考える機会とする。</li> <li>・継続支援が必要な場合は、専門機関へ紹介する。</li> </ul>										
27年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 股関節脱臼検診、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の実施 2 1歳6か月児健診と3歳児健診において、心理士をスタッフとして配置する					1 健診実施回数、受診人数 1) 股関節脱臼検診 2) 乳幼児健診 2 心理相談実施回数、相談人数			1 1) 24回 816人 2) 135回 2502人 2 71回 190人		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		8,801	9,781	8,756	10,210						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		8,801	9,781	8,756	10,210						
人件費計(千円)②		5,851		6,532							
正規職員所要時間		1,504		1,686							
臨時職員所要時間		440		468							
総事業費①+②		14,652	9,781	15,288	10,210						
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種健診の受診率は95%以上を維持している。未受診者には電話や家庭訪問によって受診勧奨や状況把握を行っている。</li> <li>・健診における臨床心理士の相談回数は26年度と同等だが、平成27年度は87回中71回の心理士の配置にとどまっている。依然として臨床心理士の確保は難しい状況である。</li> </ul>										
改革改善の考え方	①問題点	乳幼児健診の実実施回数は現状で妥当であるが、保健センターの改築および上郷公民館の建設に伴い、乳幼児健診会場の変更について検討が必要となっている。 臨床心理士は募集をしても応募がない。こども家庭応援センター、こども発達センターひまわりからの派遣も十分でなく、臨床心理士の配置は健診回数の75%ほどである。									
	②改革提案	平成25年度から本庁・上郷・鼎会場の乳幼児健診を鼎保健センターで実施している。平成29年度保健センター開設に伴い会場の検討を行う。 臨床心理士の派遣について、こども家庭応援センター等に引き続き要望する。									